

社協だより

編集と発行／社会福祉法人 田子町社会福祉協議会
電話 32-4045 FAX 32-4085 メールアドレス syakyou@bz01.plala.or.jp
ホームページアドレス <http://takko-syakyo.jp/>

主な内容

- プロスポーツ交流会 …………… 1
- 平成29年度事業報告 …………… 2、3
- 平成29年度決算 …………… 4
- 平成30年度予算、事業計画 …………… 5
- いきいき通信 …………… 6
- 社協会費について …………… 7
- 各種案内 …………… 8



上郷小学校×青森ワッツ ～交流を通じた福祉教育～

7月19日、上郷小学校においてプロバスケットボールチームの青森ワッツに所属する野里悼貴（のざとじゅんき）選手と船山裕士（ふなやまゆうじ）選手との交流を通じた福祉教育がありました。

この活動は、今年から青森県共同募金会が、県内の小・中学生を対象に、プロスポーツ選手との交流から「夢を持つことの大切さ」や「仲間を大切にすること」を学び、児童生徒の心の成長を目的として実施しています。

この日は1年生から6年生までの児童20名が参加し、選手から挨拶や返事といった当たり前のことを大切にすることを学びました。

始めは緊張が見られましたが、選手たちとの交流が進むにつれて次第に笑顔が見られるようになり後半では選手と一緒に積極的に体を動かして交流を楽しむ子ども達が印象的でした。選手たちは交流の中でも返事や相手の話を聞くことの大切さについて触れられ、子ども達は真剣に選手の話聞いていました。

交流後は記念撮影とサイン会が開かれ、バスケットボールやTシャツといった思い思いの物にサインを貰い、笑顔の絶えない交流会となりました。



自熱したバスケ相撲

この社協だよりは社協会費と共同募金配分金により発行しています。

田子町社協の1年

※平成29年度に実施した主な事業のみ掲載しています。

法人の運営

◆会議の実施

・理事会	4回	・正副会長会議	12回
・評議員会	3回	・幹部会議	12回
・監査会	2回	・各種委員会	3回

◆財源の確保

・社協会費	2,310,000円 (1,863人)
・団体賛助会費	460,000円 (36事業所92口)
・共同募金配分金	1,030,000円
・補助金・委託金	56,520,000円
・寄付金	136,110円 (9件)
・バザー収益金	176,700円

居宅介護支援事業

ケアマネジャーが利用者や家族の問題を解決する為に、最適な介護サービスを利用できるよう、介護保険に関する相談・手続・介護計画（ケアプラン）作成を行いました。

- ・新規契約件数 20件
- ・計画作成延件数 1,254件

訪問介護事業

高齢者など介護を必要とするお宅にホームヘルパーが訪問し、入浴や排せつなどの「身体介護」や掃除や洗濯などの「生活援助」のサービスを行いました。

- ・介護給付 実利用者数37名 延訪問回数2,728回
- ・予防給付 実利用者数 5名 延訪問回数118回
- ・障害福祉サービス 実利用者数 5名 延訪問回数358回

通所介護事業

介護が必要となった高齢者の方を、せせらぎの郷1階のデイサービスセンターまで送迎して、レクリエーションや昼食、入浴のサービスを行いました。

- ・介護給付 実利用者数90名 延利用件数6,210回
- ・予防給付 実利用者数 7名 延利用件数146回
- ・障害福祉サービス 実利用者数 1名 延利用件数104回

移送サービス事業

公共交通機関の利用が困難で、歩行困難または移動に介助を要する高齢者及び障害者を対象に移送サービスを行いました。

- ・稼働日数 231日
- ・延利用件数 1,109件

配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢者や障害者の方で、自分で料理をすることが難しい方に栄養バランスのとれた食事を提供し、ボランティアの協力を得ながら安否確認と利用者の健康維持・増進に努めました。

- ・稼働日数 310日
- ・延食数 4,513食

ふれあい・いきいきサロン

身近な地域における集いを広げ、閉じこもり予防、仲間づくりを通し地域住民のネットワークづくりの支援をしました。（社協会費からサロン参加者一人当たり300円の助成を行いました。）

- ・25か所で99回実施
- ・延参加者数 1,705名



向山地区の様子

共同募金運動の実施

田子町共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を実施し、町民各位をはじめ関係機関のご協力をいただきました。

- ・赤い羽根共同募金総額 1,341,194円

児童生徒のボランティア活動推進事業

社会福祉への関心や理解を深めるとともに地域での具体的な体験活動を通して思いやりや相互の助け合いの心を育むよう、町内の各校を福祉協力校として指定し、活動の支援を行いました。

- ・上郷小学校 点字教室
- ・田子中学校 高齢者疑似体験 等



高齢者疑似体験

低所得世帯の援助

低所得世帯に対して、民生委員や三戸地域自立相談窓口との連携のもとに各種資金等の相談を行い、世帯の自立援助に努めました。

- ・たすけあい資金の貸付 4件
- ・フードバンク提供回数 14回

老人福祉センター管理事業

町からの指定管理者として、利用者の見守りや施設の維持・管理業務を行いました。また、利用者で組織する「湯の会」の活動や老人クラブの各種研修の支援を行いました。

- ・開所日数 245日
- ・延利用者数 10,337名

社会福祉大会の実施

町民の福祉意識の高揚と、地域福祉の推進を図るために、第51回田子町社会福祉大会を開催しました。



講演の一コマ（じゅんちゃん一座）

地域福祉活動計画の策定

地域の福祉課題の解決に向けた住民主体を基本とした取組みの行動計画である第3次田子町地域福祉活動計画の策定を行いました。また、計画策定にあたり、20歳代から70歳代の年代別に「福祉に関する意識調査」を行いました。

ほっとできる居場所づくり事業

青森県社会福祉協議会からの助成により、老人福祉センターの厨房を活用し、田子町手をつなぐ育成会会員の方々を中心に料理教室を開催しました。



ピザ作り教室

学童保育事業の実施

保護者が就労等により日中家にいない児童を対象に、放課後や学校が休みの日に保護者と児童が安心して利用できる居場所を提供しました。

- ・延利用児童数
- | | |
|-------|---------|
| すくすく館 | 10,168名 |
| 田子分館 | 3,020名 |
| 上郷分館 | 3,441名 |



すくすく倶楽部交流会

福祉団体の育成

当事者や家族の会である4つの福祉団体の事務局を担当し、各種会議や研修会を開催しました。

- ・田子町老人クラブ連合会
- ・田子町身体障害者福祉会
- ・田子町手をつなぐ育成会
- ・田子町共同募金委員会

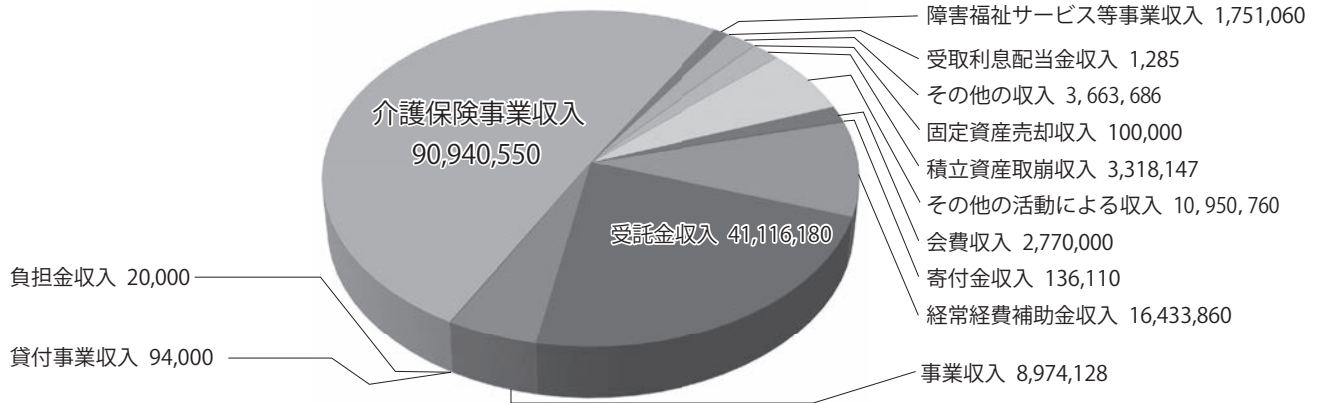


平成29年度決算



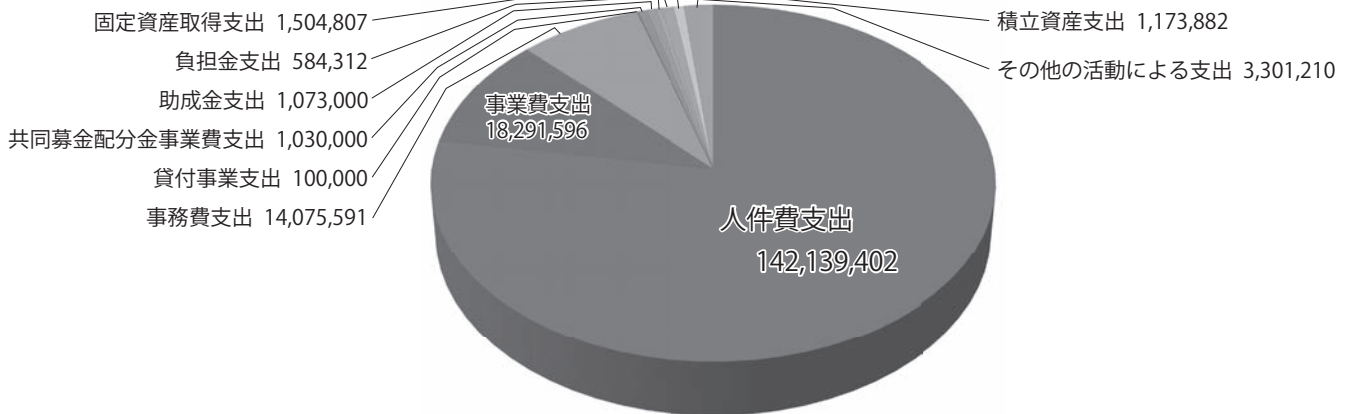
▶収入の部

(単位：円)



▶支出の部

(単位：円)



平成29年度貸借対照表



科目		金額 (円)	科目		金額 (円)
資産の部	流動資産	99,430,546	負債の部	流動負債	14,143,074
	現金預金	84,127,043		事業未払金	3,573,084
	有価証券	1,000		その他の未払金	259,200
	事業未収金	15,289,178		未払費用	8,455,185
	未収金	13,325		預り金	5,000
				職員預り金	1,612,105
				前受金	238,500
	固定資産	167,461,042		固定負債	73,727,332
	基本財産	1,000,000		退職給付引当金	73,727,332
	基本財産特定預金	1,000,000		負債の部合計	87,870,406
	その他の固定資産	166,461,042	純資産の部	基本金	1,000,000
	建物附属設備	3,526,950		基本金	1,000,000
	機械及び装置	9,634,000		基金	11,000,000
	車両運搬具	36,027,296		福祉基金	11,000,000
	器具及び備品	14,976,170		その他の積立金	76,316,255
	権利	516,751		人件費積立金	30,325,000
	貸付事業貸付金	167,000		車両購入積立金	39,980,255
	退職手当積立基金預け金	51,132,990		特殊浴槽購入積立金	6,011,000
	退職給付引当資産	12,534,532		次期繰越活動増減差額	90,704,927
	福祉基金積立資産	11,000,000		次期繰越活動増減差額	90,704,927
人件費積立資産	30,325,000	(うち当期活動増減差額)	△8,296,921		
車両購入積立資産	39,980,255	純資産の部合計	179,021,182		
特殊浴槽購入積立資産	6,011,000	負債及び純資産の部合計	266,891,588		
資産の部合計	266,891,588				



平成30年度事業計画



田子町社会福祉協議会では、今年度も会員（住民）の皆様とともに、地域の活動を支援しながら地域福祉を推進してまいります。

- ・田子町老人福祉センターの指定管理事業
- ・介護予防活動と介護保険サービスの活用
- ・利用者本位の柔軟な福祉サービスの提供
- ・在宅介護者の支援
- ・ノーマライゼーションの推進とインクルーシブ社会の実現
- ・障害者の社会参加と福祉的就労にむけた支援

＜基本目標＞

みんなで作る心のかようやさしい福祉のまち
～自助・互助・公助と共同で高める地域の福祉力～

＜主な推進項目＞

○社協組織と財政基盤及び相談援助体制の強化

- ・法人の適切な経営
- ・責任ある執行体制のための理事会等の組織強化
- ・相談事業の強化と関係機関とのネットワーク体制の確立
- ・財源の安定的確保
- ・福祉サービス利用者援助
- ・福祉団体等の育成
- ・低所得者並びに離職者等の自立支援
- ・福祉課題の把握

○高齢者が元気でいきいきと長生きし、障害者にやさしいまちをつくる

- ・高齢者の仲間づくり支援と交流活動の推進

○子どもが健全に育っていくまちをつくる

- ・住民参加による子育て支援の仕組みづくり
- ・母子・父子世帯のニーズ把握並びに課題解決
- ・関係機関との連携密による専門的相談への対応
- ・学童保育事業並びに子育て支援の充実

○みんなで築くふれあいの地域づくりを推進する

- ・ほのぼのコミュニティ 21推進事業の充実
- ・支えあいの意識の向上及び住民参加による活動の推進
- ・町と連携した災害時の助け合いシステムの構築
- ・幼児期からの一貫した福祉教育の推進
- ・ボランティア活動の開拓並びに組織化とその支援
- ・福祉情報の提供と啓発活動の推進

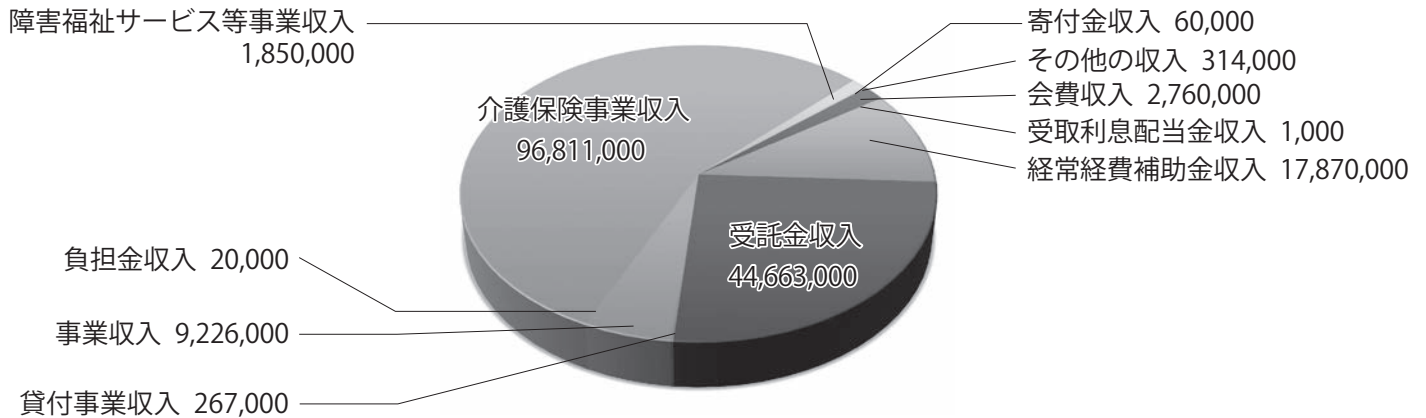


平成30年度予算



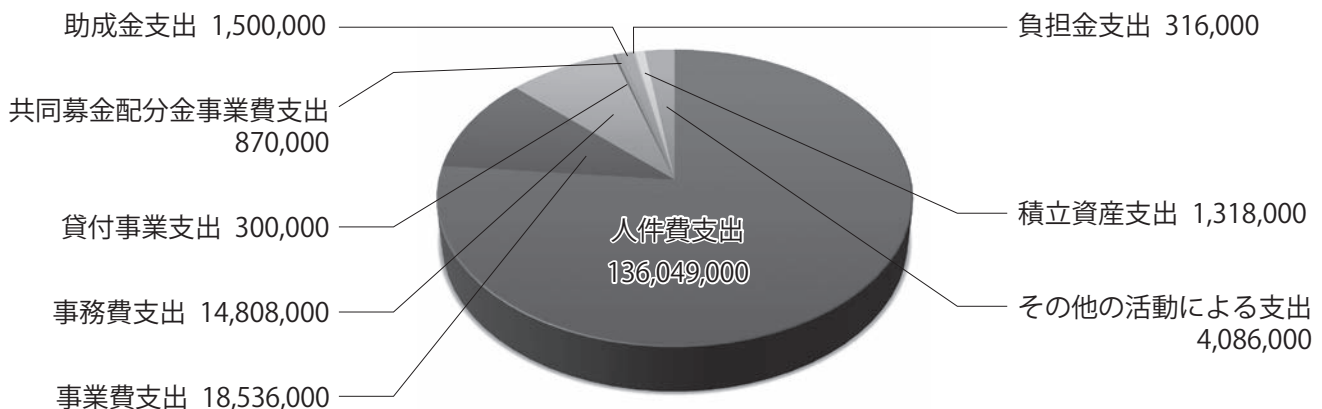
▶収入の部

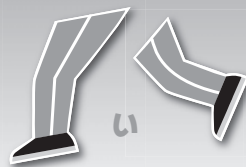
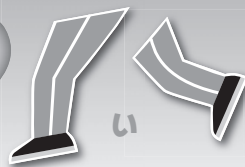
(単位：円)



▶支出の部

(単位：円)





初めての吹矢に興奮



的に狙いを定めます。

6月22日、田子町中央公民館にて、三戸郡身体障害者福祉連合会平成30年度定時総会及び研修会が開催されました。総会では前年度の事業報告や監査報告、今年度の事業計画などが承認されました。

研修会では、青森県スポーツ吹矢協会フルーツの郷南部支部の竹内信勝氏を講師に、吹矢の吹き方や打つ前後の作法などを教わりながらスポーツ吹矢を実際に体験しました。初めて行う吹矢に最初は戸惑いもありましたが、的に真ん中を射抜いたり、風船を割るたびに歓声と笑顔が絶えない研修会となり、「またやりたいなあ」という声も聞こえてきました。

潮風を満喫



手渡しでえさやり！

7月9日、八戸市の観光遊覧船シャーク号に乗船＆八食センター食べ歩きプランで、会食交流事業「寄りあいっこ」を開催しました。八戸の工場地帯から蕪島近くまでの海を巡る遊覧では、船頭さんも「こんなに集まったのは初めて」、と驚くほどのウミネコが大群で到来。窓の外へ差し伸べた手からウミネコが餌を直接くわえていく度に歓声があがり、参加者はウミネコとのふれあいを満喫していました。

八食センター食べ歩きでは、「何を食べようかな～」と迷いながら、活気あふれる市場の賑わいの中、食事や買い物を楽しみました。

年齢を感じさせないプレー



みんなで記念撮影

7月12日、農業者トレーニングセンターにて、老人クラブ会員による平成30年度田子町シニアレクリエーションを開催しました。この日は9月12日に開催される三戸郡老人スポーツ大会の練習も兼ねており、全部で41名の方が参加されました。レクリエーションではボウリングや缶つり、玉入れを始めとした10種目を行い、それぞれ競技を楽しみながら自分が得意な競技を探していました。競技がヒートアップすると本番さながらの盛り上がりを見せ、参加者は9月の三戸郡の大会に向けて確かな手ごたえを感じた様子でした。

おめでとうございます！



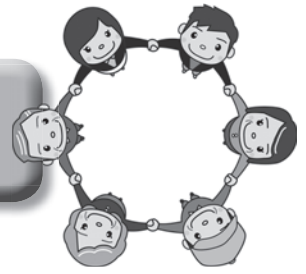
表彰を受ける菊地氏

7月13日、階上町ハートフルプラザはしかみで開催された第68回三戸郡社会福祉大会において、三戸郡社会福祉協議会会長より、以下の方々が功績を称えられ表彰されました。(敬称略)

【社会福祉団体・社会福祉施設及び
社会福祉協議会役職員】 小笠原 靖子 沢森 由華

【社会福祉協議会評議員】 菊地 ヨシエ

皆さまからの会費に支えられています



会費は福祉の向上のため大切に活用させていただいております。

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき、各市町村に設置されています。地域福祉を推進する中心的な役割を負い、福祉の問題や課題に即した様々な事業を展開しています。その中には、地域の皆さまの活動を促進するため、法律や諸制度にない取り組みを行っており、会費はこれらの事業を実施するための貴重な財源となります。

皆さまのご理解、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

会 員 種 別		会 費
普 通 会 員	住民の皆さまからご協力いただいております。	一口 1,000 円
賛 助 会 員	社協事業にご賛同いただける個人の方からご協力いただいております。	一口 2,000 円
団 体 賛 助 会 員	町内の社会福祉施設や企業・団体からご協力いただいております。	一口 5,000 円

～会費はこのように使われています～

- ・機関誌発行事業
- ・心配ごと相談事業
- ・社会福祉大会事業
- ・福祉協力員活動事業
- ・寄りあいつこ
- ・福祉団体助成事業
- ・ボランティア活動事業
- ・ふれあい・いきいきサロン 等

社協会費に関する Q&A

Q 1 なぜ会費を集めるのですか？

A 1 税金で賄うべきと思われる方もいるかもしれませんが、税金だけでは全ての地域の課題が解決できるとは限りません。

社協では誰もが安心して暮らすことができるまちづくり（地域福祉の推進）を住民の側から推し進めていくことを目的とし、「会費制度」をとっています。自分たちのために、自分たちでお金を出し合い、自分たちで決める、それが社協会費の考え方になっています。

Q 2 会費は強制ですか？

A 2 社協の会費は任意であり、社協の活動や取り組みにご賛同いただいた方に、金銭的なご協力をお願いしています。地域の福祉活動は皆さま方の会費によって支えられていますので、是非ともご協力をお願いします。

Q 3 会費を払うとどのようなメリットがありますか？

A 3 会費制度は、お互いの支え合いの精神に基づくものであることから、基本的に特別な特典はありません。しかし、会員として賛同していただける方が多ければ多いほどより良いサービスが提供できるといえます。助け合いの気持ちで一緒に地域福祉を推進していくための制度であるということをご理解いただきますようお願い申し上げます。



地域と社協のパイプ役！～福祉協力員のご紹介～

社会福祉協議会では、毎年各自治会から福祉協力員の選任をお願いしています。
福祉協力員の主な活動内容は、会費の集金や共同募金活動、社協だよりの配布、地域福祉に関する情報提供などです。
みなさんのお宅にお伺いした際にはご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成30年度 福祉協力員											(敬称略)
下田子	鳥井本晴江	野畦沢	奥家 三雄	細 野	村木八重子	下本町	田村 重文	道 前	松橋百合子		
塚ノ上ミ	稲村 正志	川 向	坂上 文英	明土平	白澤 英子	サンモール	松橋 明子	嘉 沢	藤村 敦子		
舞 手	佐野 進	川 代	佐藤喜和子	上相米	道上ハナエ	雀ヶ平	高沢 章子	山 口	梅内 勝子		
向 山	田守 正人	清水頭	千葉 和義	柴 倉	紫泉 桂子	野 面	川端 誠	関 下	日澤 利美		
衣 更	足沢 良子	椛 山	椛本 昌彦	根 渡	田中たず子	極ノ実	山沢 修	関 上	日澤 守章		
七日市	中村 博賢	袖 平	大久保 稔	上風張	田畑 恵以	飯 豊	中村恵美子	夏 坂	日向 尚起		
矢田郎	矢田 均	干草場	中平 大輔	風 張	柳田 なか	原	飯原 正治	遠 瀬	田中 一義		
野 月	井上 節子	長 坂	越後 利信	南風張	川守田スエ	道 地	佐藤 洋子	水 亦	新田 賢三		
種 子	佐藤 泰子	西館野	川村 定子	南 側	小島 元子	石 亀	築田 浩良	新 田	山崎 文子		
野々上	佐藤 治	上 野	西村 美紀	北 側	一ノ渡尚武	杉 本	田畑 文子				
池 振	奥家 三雄	宮 野	堀合 牧子	中本町	森 康一	茂 市	内條 礼子				

職 員 紹 介 今年度採用の職員を紹介します



もとき たつや
本木 達也
(福祉活動専門員)

「体を動かすことが大好きです。よろしくお願いします。」



たけおか よしかず
武岡 義和
(介護支援専門員)

「地域の方々との繋がりを大切に頑張りたいと思います。」



ふくだ ゆうすけ
福田 侑輔
(学童保育支援員)

「よく食べ、よく寝て1日1日を大切に過ごしたいです。」



おおむら まちこ
大村 真智子
(学童保育支援員)

「子ども達との関わりを大切に一生懸命頑張りたいと思います。」



かわかみ けいこ
川上 恵子
(介護職員)

「笑顔で頑張ります。」



あかの さやか
赤野 沙也加
(調理員)

「美味しい食事を提供できるように頑張ります。」



むらかみ りな
村上 璃奈
(看護職員)

「八戸市から来ました。田子町民としてよろしくお願い致します。」



なかむら ちひろ
中村 千紘
(学童保育支援員)

「早く子供たちと仲良くなれるように頑張ります。」

善 意 の 灯

皆様からの温かいご寄付をお寄せいただきましたのでご紹介いたします。
ありがとうございました。(平成30年3月1日～平成30年7月31日)

- ・演芸せきれい会 中村 春治 様……………22,803円
- ・しらゆきの会 代表 中沢 和枝 様……………18,000円
- ・匿名 希望 様……………5,000円
- ・耕田寺 様……………10,000円
- ・協同組合 田子スタンプ会 理事長 沢森 正 様……………30,988円
- ・匿名 希望 様……………おむつ6袋
- ・佐野 ナミ 様……………手ぬぐいぞうきん10枚
- ・三戸ライオンズクラブ 会長 小島 寛崇 様……………食料品、飲料水等
- ・田子高校 様……………エコキャップ14kg
- ・田子中学校 様……………エコキャップ104.8kg



田子スタンプ会様

町内の商店で使用できるガーリックカードが新しくなったことに伴い、田子スタンプ会様の呼び掛けにより旧カードを集めていただき、1列10円としてご寄付していただきました。田子スタンプ会様、カードをご寄付いただいた皆さまありがとうございました。

また、今回ご寄付いただいたエコキャップ(ペットボトルキャップ)は回収団体へ提供し、59.4人分のポリオワクチン代となりました。社会福祉協議会ではエコキャップのほか、プルタブや古切手等も集めておりますのでご協力よろしくお願いいたします。